

## 段ボールコンポストの作り方

### ①材料を集めよう



#### 材料

- ・ピートモス(土)※
- ・くん炭(土)※
- ・段ボール 2~3枚(2層の段ボールの場合は1枚+底板用1枚でOK)
- ・ガムテープ
- ・すのこ
- ・シーツ等の大きい布

※土は段ボール容量によって量が変わります。

### ②段ボールを組み立てよう



段ボールを組み立てます。

この時のポイントはふちの部分までしっかりガムテープを貼ること。

隙間があるとハエなどが隙間に卵を産み付け、コバエが発生することがあります。

2層段ボールがない場合は同じくらいの段ボールを重ねましょう。

最後に適度な大きさに切った段ボールを底板として入れましょう。

### ③土を入れよう



用意したピートモスとくん炭を段ボールに入れましょう。  
この時の比率は3:2になるようにしましょう。  
入れたらスコップを使ってよく混ぜてください。

### ④すのこに乗せよう



コンポストの破損防止と風通しを良くするために下にすのこを敷きましょう。

### ⑤虫よけのために布をかぶせよう



最後に段ボールコンポストに布をかぶせれば完成です。  
ビニールなど空気を通さない素材を使うと、微生物が呼吸できなくなり分解が進まなくなるため、必ず風通しの良い布などの素材を使いましょう。

## 使い方



コンポストの中に野菜くずなどの生ごみを入れて、よく混ぜればそれだけで OK です。  
水分が多いバナナの皮などは4～5日程度で分解されます。

キャベツの芯など水分が少ないものについては、分解が遅いため、細かく切るなど工夫して入れると早く分解が進みます。

1日1回程度は混ぜましょう。

混ぜなくてもある程度は分解が進みますが、分解スピードが遅くなります。またカビが発生することがあります。(カビが発生しても肥料としては問題ありません。)

分解が進み、土になってきたら肥料として野菜を育てるために使ってみましょう。

この時の注意点は、コンポストで作った土を入れすぎないこと。

栄養分が強すぎて、逆に野菜が枯れてしまうことがあります。